# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2000-209339

(43) Date of publication of application: 28.07.2000

(51)Int.Cl.

HO4M 3/26 H04B 17/00 H04L 29/14 H040 7/34

(21)Application number: 11-273051

(22)Date of filing:

27.09.1999

(71)Applicant: LUCENT TECHNOL INC

(72)Inventor: LAHAM MOHAMAD ALI

LAMOUREUX PHILIP

LEONARD ERIC DAVID

(30)Priority

Priority number: 98 163940

Priority date: 30.09.1998

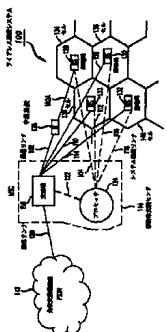
Priority country: US

# (54) METHOD FOR AUTOMATICALLY MONITORING COMMUNICATION TRUNK OF COMMUNICATION SYSTEM

# (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a method for automatically monitoring the trunk a communication system without needing any operator and without interrupting service to the user of the trunk by installing a means for deciding the next trunk to be tested in accordance with a trunk selection algorithm.

SOLUTION: The trunk to be tested is selected by a processor 124 or an exchange 118. The processor 124 uses a selection algorithm for selecting the trunk to be tested. The exchange 118 selects the trunk which is directly connected to all the trunks of all user communication links and is decided from a list or from a prescribed trunk order. The trunk of a communication system can periodically or non-periodically and automatically be monitored without using an operator and without interrupting service to the user of the trunk.



#### (19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特期2000-209339 (P2000-209339A)

(43)公開日 平成12年7月28日(2000.7.28)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>		識別記号	FΙ			テーマコード( <b>参考</b> )
H04M	3/26		H04M	3/26	С	
H04B	17/00		H04B	17/00	D	
H04L	29/14		H04L	13/00	313	
H 0 4 Q	7/34		H04Q	7/04	В	

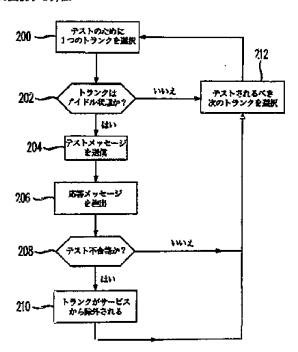
110-16, 1/34		no4Q	лочу 7/04 в		
		客查請求	未請求 請求項の数1. OL (全 8 頁)		
(21)出願番号	特顧平11-273051	(71)出願人	59607/259 ルーセント テクノロジーズ インコーポ		
(22) 引顧日	平成11年9月27日(1999.9.27)		レイテッド Lucent Technologics		
(31)優先権主張番号	09/163940		Inc.		
(32)優先日	平成10年9月30日(1998.9.30)		アメリカ合衆国 07974 ニュージャージ		
(33)優先權主張国	米団 (US)		ー、マレーヒル、マウンテン アベニュー 600-700		
		(74)代理人	100081053		
			弁理士 三俣 弘文		
			最終質に続く		

# (54) 【発明の名称】 通信システムの通信トランクを自動的に監視する方法

#### (57)【要約】

【課題】 作業者を使用することなしに、かつトランク のユーザに対するサービスを中断することなしに、通信 システムのトランクを周期的または非周期的に自動的に 監視することができる方法を提供する。

【解決手段】 トランクをサービスから除外することな しに、かつ通信トランクのテストを開始するために作業 者を必要とすることなしに、通信トランクが適切に動作 しているかどうかを自動的に判定する方法である。通信 トランクは、周期的または非周期的にその連続性および 完全さをテストされる。



### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 作業者を使用することなしにかつ通信トランクのユーザに対するサービスを中断することなしに、通信システムの通信トランクを自動的に監視する方法において、

テストするトランクを選択するステップと、

前記選択されたトランクがアイドル状態であるかどうか を判定するために、前記選択されたトランクを介してテ ストメッセージを送信しかつ応答メッセージを検出する ステップと、

トランク選択アルゴリズムに従って、テストする次のトランクを決定するステップとを有することを特徴とする 方法。

#### 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、通信トランクの連 続性および完全さの監視に係り、特に、通信システムの 通信トランクを自動的に監視する技術に関する。

#### [0002]

【従来の技術】通信システムは、情報を選ぶ通信信号がそれを通して伝達される媒体(例えば、銅線、同軸ケーブル、光ファイバ)により互いに接続された様々な通信装置を含む。通信装置は、通信システムを伝達される通信信号を送信および受信する様々な装置である。通信システムは、1つの通信システム内でまたは異なる通信システムはで情報を伝達するための比較的大きな情報容量を有する媒体と共に設計される。そのような場合は、通信システムのインフラストラクチャの重要な部分であり、以下通信リンクと呼ばれる。通信リンクは、例えば、電話システムを無線通信システムに接続するために使用される。通信リンクは、通信トランクと一般に呼ばれる通信チャネルの束として、論理的に構成される。

【0003】図1において、その通信装置を相互接続するためおよび別の通信システムに接続すために通信リンクを使用するワイアレス通信システム(100)が示されている。他の通信システムは、電話装置(例えば、電話機、ファクシミリ)のユーザによく知られている公衆交換電話網142(PSTN)として知られる周知の電話システムである。ワイアレス通信システム100は、セルの一部であるかまたはセルを形成する装置である基地局(BS)を含む。

【0004】セルは、基地局がユーザ情報をその中で伝達する(即ち、送受信する)物理的境界を決定する別個の地理的領域のシンボル的な表現である。特に、BS128はセル134を形成し、BS130はセル136の一部であり、BS132はセル140の一部であり、BS133はセル138の一部である。基地局は、セル内のユーザ間で通信信号を伝達(即ち、送受信)し、かつ交換機118およびプロセッサ124に接続された通信トランクを介して情報を伝達する無線送受信機を含む通

信装置である。

【0005】一般に加入者トラフィックと呼ばれるユーザ情報は、ユーザにより生成される情報である。基地局は、通信システムを制御し、かつ動作させるために、通信装置により生成される情報であるシステム情報も伝達する。システム情報の一例は、通信トランク内でユーザ情報の流れを規制するために、通信装置により使用されるシグナリング情報である。通信システム100のような現行のPSTNの部分およびワイアレス通信システムにおいて、加入者音声トラフィックはバルス符号変調(PCM)として知られているデジタル形式で表現される。

【0006】交換機118およびプロセッサ124は、ワイアレス通信システム100を動作させかつ制御するためのシステム情報を伝達する通信装置の部分である。交換機118およびプロセッサ124は、移動体交換センタ(MSC)と呼ばれる場所に他の装置と共に典型的には一緒に配置される。したがって、交換機118およびプロセッサ124の双方は、MSC144に配置される。BS130は、通信リンク106を介して交換機118へ接続される。通信トランクリンクは、BS132を交換機118へ接続する。

【0007】通信リンク110は、BS133を交換機 118へ接続する。各基地局は、システム通信リンクを 介してプロセッサ124に接続される。明確化のため に、各システム通信リンクは、波線により示されてい る。システム通信リンク(104,112,108,1 16)は、通信リンクの部分であってもよく、または物 理的に分離されたリンクであってもよい。システム通信 リンクは、基地局装置とプロセッサ124との間に接続 される。

【0008】プロセッサ124は、システム通信リンク(122)を介して、交換機118にも接続される。システム情報のみが、システム通信リンクを通して伝達される。プロセッサ124の制御下で、交換機118は、通信リンク120内の通信トランクを使用して、PSTN142とワイアレス通信システム100との間にユーザ情報を経路選択する。

【0009】交換機118は、ワイアレス通信システム100の基地局に接続された通信リンクの様々な通信トランクを通して、ユーザシステム情報も経路選択する。特に、通信リンク102,106,110,112および114は、全て、ユーザ情報を伝達するために、通信システム100内の通信装置により使用される通信トランクを含む。1つの特によく知られた交換機は、Lucent Technologies, Murray Hill, New Jerseyにより設計製造される5ESS Digital Cellular Switch (DCS)である。

【0010】システム情報は、プロセッサ124により 生成されて、プロセッサ124が交換機118を制御し かつ通信トランクの動作を制御することを可能にする。システム情報は、システム通信リンク122を介してプロセッサ124と交換機118との間で伝達される。プロセッサ124は、通信リンク122内の通信トランクを介して交換機118へ命令を送り、交換機118に、通信トランクの動作を制御するための様々なシステム動作を実行させるように指示する。

【0011】基地局128は、通信リンク102を介して交換機118に接続される。いくつかの通信リンクの物理的な長さは、時々通信信号がいくらかの劣化を受けるようなものになっている。そのような場合において、通信リンクは、そのような通信リンクを通って伝播する通信信号を回復させる中継通信装置(例えば、中継器126)を備える。信号劣化は、通信リンクに沿う1つまたは2つ以上の点において現れる物理的な欠陥(例えば、ダメージを受けたケーブル)のためにも生じる。

【0012】ワイアレス通信システムおよび他のタイプの通信システムの良好な動作は、そのようなシステムにおいて使用される通信トランクに大きく依存する。システムオペレータ、即ち、通信機器および通信トランクの所有者は、通信トランクを監視するためかつそのようなトランクが適切に動作しているかどうかを判定するための標準的な技術を使用してきた。容易な理解のためかつ説明のために、トランクを監視するための典型的な技術を、通信リンク102内の通信トランクを使用して説明する。

【0013】典型的にシステムオペレータにより雇用される作業者は、まずリンク102内のトランクがアイドル状態であるかどうかを判定する。アイドルトランクは、ユーザ情報が伝達されていない通信トランクである。作業者は、交換機118またはプロセッサ124からそのような情報を得ることにより、特定のトランクがアイドル状態であるかどうかを判定する。そのような情報は、通信システム100が従うプロトコルに従って処理されかつ記憶される。

【0014】プロトコルは、通信が、ユーザ間および通信装置間でどのように始められるかを定義するルールのセットである。作業者は、トランクをアイドル状態にするよう要求することができる。そのような場合、プロセッサ124の制御下にある交換機118は、トランクをアイドル状態にするために、トランクから加入者トラフィックを除去する。

【0015】作業者がトランク102がアイドル状態であると判定すると、作業者は、リンク102内のトランクがサービス外とされテストされることを要求する命令をプロセッサ124に送る。トランクのユーザに対するサービスは、したがって中断される。作業者は、プロセッサ124を動作させることにより命令を送り、交換機118によりトランクをサービス外とし、トランクの連続性テストを実行するリクエストとして認識される情報

を、通信装置に送信させる。

【0016】通信装置124は、リンク102内の特定のトランクがサービス外とされテストされるべきである基地局128は、典型的に、そのような命令の受信によりアクティブになり、かつ交換機118およびプロセッサ124と共に連続性テストを実行する図示しないテストカードを含む。基地局128(および他の基地局)は、その対応する通信リンクを介して通信信号を送受信する図示しない無線送受信機も含む。

【0017】プロセッサ124は、トランクの動作の完全な制御をとることによりリンク102内のトランクを捉える。そして、プロセッサ124は、トランクを「サービス外(OOS)」にする。これは、このトランクがテストされ解放される即ちサービスに戻されるまで、捉えられたトランクを介してユーザ情報が伝達されることが許容されないことを意味する。プロセッサ124は、システム通信リンク122を介して命令を送り、通信リンク102内のOOSトランクをテストモードにおいて動作させるよう交換機118に指示する。

【0018】プロセッサ124は、基地局128中のテストカードに対して、テストモードで動作するように、システムリンク104を介して指示する。テストモード動作は、テストされている00S通信リンクを通して、交換機118から対応する基地局(即ち、BS128)のテストカードに所定のオーディオトーンを送信することを含む。これに応じて、対応する基地局中のテストカードは、交換機118へ同じトーンまたは異なるトーンを送り返す。交換機118は、同じトーンまたは異なるトーンを検出するようにプログラムまたはセットされている。

【0019】リンク102中の通信トランクは、交換機 118が、所定の時間間隔内に基地局128においてテストカードにより送信された適切なトーンを受信する場合、適切に動作している。その他の場合、通信トランクは、非動作状態であると見なされる。したがって、テストは、通信トランクを介して送信される通信信号が、基地局128により受信されているかどうかを判定する。即ち、通信トランクの連続性がテストされる。

【0020】上述した方法で通信トランクの連続性テストを行うことは、いくつかの欠点を有する。第1に、連続性テストは、トランクの現在の状態を判定する。これは、状態が変化したかどうかを決定するために、トランクを継続的に監視しない。テストされ適切に動作していると見なされたトランクが、連続性テストが終了した後の何れかの時点で非動作状態になりうる所定の可能性がありかつ合理的な可能性がある。

【0021】第2に、この連続性テストは、トランクを サービス外にすることを必要とする。サービス外となっ たトランクは、連続性テストが行われている間の時間ユ ーザにとって利用可能でなく、したがってそのようなトランクの効率的な使用に悪影響を与える。第3に、連続性テストは、作業者により始められなければならない。そのようなテストを開始するために作業者を使うことは、システムオペレータにとって追加的なメンテナンコストとなる。

【0022】第4に、この連続性テストは、信号(即ち、1つのトーンまたは複数のトーン)が通信リンクの一端に位置する基地局により受信されることを妨げる通信リンク中の破損があるかどうかを単に判定するものである。リンク102のような多くの通信リンクは、それに接続された1つまたは2つ以上の中間装置(例えば、中継装置126)を有し、不適切に管理されている場合、このような装置は送信されたトーンを交換機118へ反射することになる。交換機118が、送信された同じトーンを受信するように設定されている場合、通信トランクリンクは、通信リンク102の区分102aがテストされておらず連続性が破損されている可能性があるときに、使用可能であると誤って見なされうる。

【0023】連続性テストは、通信リンクまたは通信リンク中のトランクの完全さはテストしない。通信リンク(または通信リンク中のトランク)の完全さは、その場部のいずれにおいても知ることができない情報を提供する能力である。したがって、許容できる完全なリンクについて通信リンクの両端における装置は、知ることができない情報を受信することができる。

【 O O 2 4 】 通信リンクは、比較的悪い物理的状態にあることがあり、または比較的悪い電気特性および/または光学特性を有する可能性があり、これは、それを伝播する通信信号の品質に悪影響を与える。悪い特性のいくつかのよく知られた現れは、信号振幅低下、位相ジッタおよび周波数変化である。これらの悪い特性にもかかわらず、通信リンクは、連続性テストの結果から依然として使用可能であると見なされる可能性がある。

# [0025]

【発明が解決しようとする課題】したがって、必要とされているものは、トランクをサービス外とすることなしにかつトランクのテストを開始するための作業者を必要することなしに、通信リンク中の通信トランクの完全さを判定するために、通信トランクを自動的に監視する方法である。

### [0026]

【課題を解決するための手段】本発明は、作業者を使用することなしに、かつ通信トランクのユーザに対するサービスを中断することなしに、通信システムの通信トランクを周期的または非周期的に自動的に監視する方法を提供する。第1に、本発明による方法は、テストのためのトランクを選択する。選択されたトランクがアイドル状態であると判定された場合、そのトランクがテストされる。そうでなければ、本発明による方法は、トランク

選択アルゴリズムに従って、別のトランクを選択する。 【0027】この選択されたトランクは、そのトランクを介して特定のテストメッセージを送信し、応答テストメッセージを所定の時間間隔内に受信することにより、連続性および完全さについてテストされる。このテストは、ユーザに対するサービスの必要が生じたときにはいつでも中断される。1つのトランクがテストに不合格になった場合、そのトランクはサービス外とされ、サービスプロバイダーには故障が通知される。トランクがテストに合格した後またはテストに不合格になった後またはテストが中断された後本発明のよる方法は、トランク選択アルゴリズムに従って、テストされるべき次のトランクを選択する。

#### [0028]

【発明の実施の形態】本発明は、トランクのユーザに対するサービスを中断することになしに、通信システムのトランクを自動的に監視する方法を提供する。トランクは、トランクのテストを開始するための作業者を使用することなしに監視される。そのようなトランクの監視は、トランクがアイドル状態であるかどうかを判定することを含む。1つのトランクがアイドル状態であると判定されると、そのトランクがテストのために選択される。テストメッセージが、その連続性および完全さをテストするために、そのトランクを介して伝達される。

【0029】テストの完了後、本発明による方法は、そのトランクがテストに合格したかまたは不合格となったかを判定する。そして、別のアイドル状態のトランクがトランク選択アルゴリズムに従って選択される。トランクがテストに不合格となった場合、交換機118は、プロセッサ124へパス122を介してメッセージを送る。プロセッサ124は、そのメッセージをディスプレイ装置(例えば図示しないスプリンタ、ディスプレイスクリーン)に送り、故障およびトランクがサービスから外されることをシステムオペレータ(またはシステムオペレータにより雇用された作業者)に警報する。

【0030】トランクのテストは、そのトランクを情報 伝達のために、ユーザが使用することを望むいかなる時 点においても中断され得る。トランクのテストが中断さ れる場合、本発明による方法は、別のアイドル状態のト ランクを単に選択し、そのトランクのテストを進める。 通信システムのトランクの開始は、周期的または非周期 的に行われる。

【0031】周期的な監視は、通信システムのトランクを一定時間インターバルで監視することである。非周期的監視は、通信システムのトランクを変化する時間インターバルで監視することである。トランクの自動的監視は、トランクのテストの開始または実行に作業者を必要としないこととして定義される。以下に説明するように、交換機118またはプロセッサ124の何れかが、監視を自動的に開始および実行することができる。

【0032】図2において、図1に示されたような通信システムについての本発明の方法のステップが示されている。本発明による方法は、ワイアレス通信システムに限定されず、またいかなる特定のタイプの通信システムにも限定されない。通信トランクは、1つの特定の通信チャネルを表すこともでき、また複数の通信チャネルを表すこともできる。

【0033】例えば、ワイアレス通信システム100の各通信トランクは、デジタル信号ゼロ(DS0)通信チャネルとして組織され得る。DS0通信チャネルは、64Kbpsの情報レートを有するデジタル通信チャネルである。DS0通信トランクは、典型的には、DS1通信リンクの一部である。DS1通信リンクは、24個のDS0トランクを含み、1.544Mbpsの情報レートを有する。本発明による方法は、交換機118またはプロセッサ124またはそれらの両方にあるソフトウェアとして具現化され得る。

【0034】また、本発明による方法は、交換機118 およびプロセッサ124により制御可能なハードウェアとしても具現化することができる。対応するハードウェアおよび/またはソフトウェアは、基地局装置のテストカードにインストールすることができる。単純化および理解の容易さのために、本発明の方法の特定のステップが、基地局装置128に接続された通信リンク102内の通信トランクに関して説明される。

【0035】ステップ200において、テストされるべきトランクが選択される。テストされるべきトランクの選択は、プロセッサ124または交換機118の何れかにより実行される。プロセッサ124は、テストされるべきトランクを選択するために、選択アルゴリズムを使用する。選択アルゴリズムは、システムオペレータによりまたはプロセッサ124の製造者により考案され得る。交換機118は、全てのユーザ通信リンクの全てのトランクに直接的に接続され、したがってリスト上からまたは所定のトランク順序から決定されるトランクを単に選択する。

【0036】ステップ202において、通信リンク102内の選択されたトランクがビジー状態であるかどうか、即ちそのようなトランクを介してユーザ情報が伝達されているかどうか、またはトランクがアイドル状態であるかどうかが判定される。交換機118は、ワイアレス通信システム100の通信装置により、トランクを介して送られたデータを分析することによりこの判定を行う。

ク、関連する基地局およびその無線送受信器を同定する 情報を含む。装置を同定するために使用する1つの方法 は、装置の各部分、即ち、トランク、基地局テストカー ドおよび無線送受信器についての識別番号を有すること である。この識別情報は、テストの不合格をレポートす るために使用される。

【0038】プロセッサ124は、選択されたトランクがビジー状態であるかどうかを、基地局に配置された無線送受信装置およびテストカード装置からシステム通信リンクを介して受信した情報から決定する。トランクがビジー状態である場合、本発明による方法は、ステップ212に移り、以下に説明するように、トランク選択アルゴリズムに従って別のトランクを選択する。トランク102がアイドル状態である場合、本発明による方法は、ステップ204へ移る。

【0039】ステップ204において、テストメッセージは選択されたトランクを介して送られる。特に、交換機118は、選択されたトランクを介してテストメッセージを送信する。テストメッセージの送信に先立って、交換機118は、通信リンク102中の選択されたトランクを介して、基地局128装置(例えば、送受信機およびテストカード)ヘテストモードメッセージを送信し、基地局128装置に、そのトランクがテストされるべきであることを通知する。

【0040】基地局装置(即ち、無線送受信機およびテストカード)は、そのテストモードに入り、交換機118からのテストメッセージを待つ。テストメッセージは、基地局128(即ち、テストカードおよび無線送受信器)が検出するようにプログラムまたは構成された情報の定義ブロックである。テストメッセージの一例は、基地局128が検出するようにプログラムまたは構成された数値的計数シーケンスまたはデジタル計数シーケンスである。

【0041】このテストメッセージは、システムオペレータおよび/または交換機118の製造者により考案されるいずれか所定の特別なテキストメッセージであり得る。基地局128(無線送受信器およびテストカード)がこのメッセージを検出すると、基地局128は、交換機118が検出するように構成されまたはプログラムされた応答メッセージを送信する。このようにして、通信トランクの連続性のみならずその完全さもテストされる。

【0042】また、このテストは、基地局128が適切に機能しているかどうかも示す。適切に機能する基地局は、情報を検出し、検出された情報を処理し、かつ通信トランクを介して応答情報を送信することができる。テスト中のいかなるときにおいても、テストメッセージが送信されている間であったとしても、本発明による方法は、テストされている通信トランクを使用することを望むユーザにより中断され得る。本発明の方法が中断され

る場合、トランク選択アルゴリズムに従って単に別のアイドルトランクを選択する。

【0043】ステップ206において、基地局128により送信される対応する情報は、交換機118により検出されかつ分析されて、通信トランクの連続性および完全さを確認し、基地局128が適切に機能していることも確認する。交換機118は、テストメッセージを検出するように構成および/またはプログラムされている。交換機118が所定の時間間隔内に期待した応答メッセージを検出しない場合、交換機118は、テストメッセージを検出しない場合、交換機118は、テストメッセージをもう一度送信する。

【0044】ステップ208において、交換機118 は、通信トランクが、そのテストに不合格であったかど うかを判定する。交換機118が、テストメッセージの 両方の送信に対して期待するメッセージを検出しなかっ た場合、本発明による方法は、ステップ210へ進む。 期待したメッセージが受信された場合、本発明による方 法は、ステップ212に進む。トランク102が合格し たかどうかの判定法は、上記したものに限定されない。 【0045】例えば、テストメッセージは、交換機11 8が判定を行う前に、3度送信することができる。ま た、応答メッセージは、いくらかの誤りを伴って受信さ れ得る。そのような場合、交換機118は、応答メッセ ージがいかなる誤りもなしに受信された場合、または応 答メッセージが所定の誤りしきい値を下回る所定量の誤 りを伴って受信された場合にのみトランクを合格である と決定することができる。この誤りしきい値は、システ ムプロバイダおよび/または交換機118またはプロセ ッサ124の製造者により定義され得る。

【0046】ステップ210において、交換機118は、トランクがテストに不合格であったと判定する。そのトランクは、サービスから除外されて、交換機118は、プロセッサ124にメッセージを送る。プロセッサ124は、図示しないディスプレイ装置にメッセージを送り、そのトランクが適切に動作していないことをサービスプロバイダーに警報する。ディスプレ装置は、交換機118およびプロセッサ124と同じところに配置することができる。システムプロバイダは、そのトランクを調査しかつできる限り早くそれを修理するための必要なステップをとることになる。

【0047】ステップ212において、本発明による方法は、テストのために選択されるべき次のトランクを決定する。交換機118がテストされるべき次のトランクを選択するために使用された場合、交換機は、トランクの所定の順序を使用することにより伝達されているデータを分析しかつそのデータがアイドルパターンであるかどうかを判定する。交換機118は、発見した最初のアイドルトランクを選択する。

【0048】別の方法は、交換機118にトランクをラ

ンダムに選択させることである。アイドル状態であると 判定された最初のトランクが、テストされるべき次のト ランクとして選択される。一方、プロセッサ124が、 次のトランクを選択するために使用される場合、いくつ かの技法が使用され得る。次のトランクを選択するため の1つの方法は、「ラウンドロビン」手順を使用するこ とである。

【0049】通信システムのトランクは、交換機118中に記憶された所定の順序でリストされている。このリストは、プロセッサ124によりアクセス可能である。プロセッサ124は、このリストの順序に従ってトランクを選択する。別の手順は、"Most Idle Trunk Furst"アルゴリズムを使用することである。そのようなアルゴリズムにおいて、プロセッサ124は、トランクがアイドル状態であって、所定の時間間隔内にまだテストされていない時間の長さの記録を保持する。

【0050】現在アイドル状態である全てのトランクの リストが分析されて、最も長い時間の間アイドル状態で あったトランクが、テストされるべき次のトランクとし て選択される。逆に、本発明の方法は、最も短い時間ア イドル状態であったトランクを選択することもできる。 テストされるべき次のトランクを選択するために、他の 周知の方法が使用され得る。

【0051】1つのトランクがテストされているかどうかに無関係に、交換機118および/またはプロセッサ124は、一人のユーザまたは複数のユーザがそのトランクを使用することを望むときを示すシグナリング情報を受信する。上述したステップの何れか1つの間のいずれの時点においても、テストされているアイドルトランクがユーザにより中断された場合、本発明による方法は、テストを終了させて、別のアイドルトランクを選択する。

# [0052]

【発明の効果】以上説明したように、本発明による方法 は、作業者を使用することなしに、かつトランクのユー ザに対するサービスを中断することなしに、通信システ ムのトランクを周期的または非周期的に自動的に監視す ることができる。

# 【図面の簡単な説明】

【図1】ワイアレス通信システムおよびPSTNのシステムレベル図。

【図2】本発明の一実施例による方法を示すフローチャート。

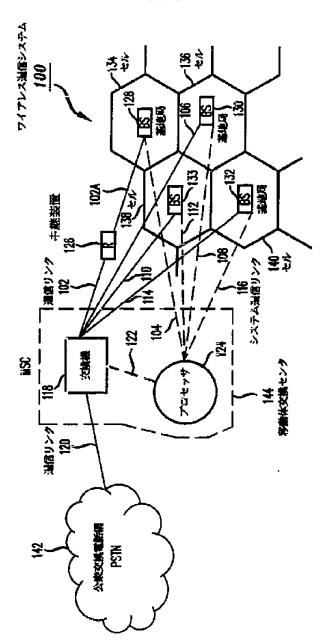
#### 【符号の説明】

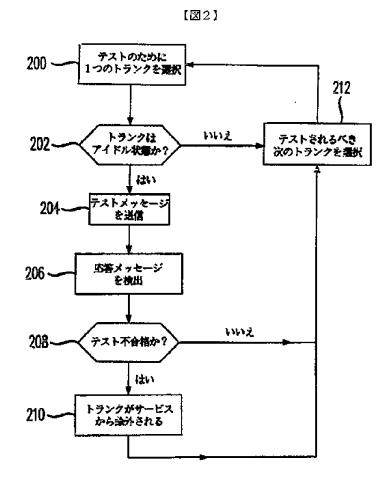
- 100 ワイアレス通信システム
- 102 通信リンク
- 116 システム通信リンク
- 118 交換機
- 120 通信リンク
- 124 プロセッサ

126 中継装置 128,130,132,133 基地局(BS) 142 公衆交換電話網 (PSTN) 144 移動体交換センタ (MSC)

134, 136, 138, 140 セル

【図1】





フロントページの続き

# (71)出願人 596077259

600 Mountain Avenue, Murray Hill, New Je rsey 07974-0636U.S.A.

(72)発明者 モハメッド アリ ラハム

アメリカ合衆国、07920 ニュージャージ ー、バスキング リッジ、ノース フィン リー アベニュー 53

(72) 発明者 フィリップ ラモウレックス

アメリカ合衆国、07876 ニュージャージ ー、スカッスンナ、フォレストードライブ

(72)発明者 エリック デビッド レオナルド

アメリカ合衆国、07034 ニュージャージ ー、レイク ヒアワサ、ダフラック ドラ

イブ 52